

## 論述ブースト No.5

科学的思考を「仮説・検証・結論」で書く ―― 実験考察論述を構造化する

## 導入文

実験考察の論述で「結果を見て感じたことを書く」だけでは、難関大では得点にならない。大学の科学的論文の作法で使われる「仮説→実験設計→観察→解釈→結論」という構造を習得することで、実験問題の考察論述が根本から変わる。

## 講義概要

実験考察論述を「感想の記述」から「仮説・検証・結論という科学的思考の再現」へ転換する。対照実験の意味・変数の制御・結果の解釈と推論の区別を体系化し、生物・化学の実験問題で減点されない考察答案の書き方を身につける。

**授業目標：**実験考察論述を感想の記述から、科学的思考を構造化した答案へ変える。

**対象者：**高2～高3・浪人生の理系志望者。生物・化学の実験考察問題がある難関大・医学部受験生で、考察論述の論理性を高めたい生徒。

**授業時間：**授業90分+演習・質疑応答30分

**到達目標：**仮説・検証・結論の構造で答案を組み立てられる／対照実験の意義を説明できる／観察と解釈を区別して書ける

## 授業構成 (90分) + 演習・質疑応答 (30分)

**授業90分：**1 導入：感想で終わる考察と得点になる考察を比較 2 概念導入：科学的思考の5ステップを整理 3 対照実験：「なぜ比較するか」の論理を整理 4 変数の制御：独立変数・従属変数・統制変数を平易に説明 5 解釈と推論の区別：「言えること・言えないこと」の再確認 6 演習：実験問題を構造に沿って考察論述 7 まとめ：「まず仮説を確認する」習慣を固定

**追加30分：**実験考察問題2題を骨格に沿って書く演習を行い、仮説と結論のつながりについて個別フィードバックと質疑応答を行う。

**板書・スライド骨子：**科学的思考の5ステップ／対照実験の意義／変数の整理／観察・解釈・推論の区別

**課題：**実験問題1題を「仮説→実験設計の意図→観察事実→解釈→結論」の5段構成で200字以内にまとめる。

**備考：**高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。